

## 「小規模多機能自治推進事業」について

令和4年3月25日

第5回条例策定検討委員会資料

### ■ 小規模多機能自治とは

小規模多機能自治とは、自治会、町内会、区などの基礎的コミュニティよりも広範囲の概ね小学校区などの範囲において、その区域内に住み、又は活動する個人、地縁型・属性型・目的型などのあらゆる団体等により構成された地域共同体が、地域実情及び地域課題に応じて住民の福祉を増進するための取組みを行うことです。

「自治」を行うためには、地域を総括する組織が必要となります。本市では、平成27年度から交流センターを設置するとともに、その交流センターを活動拠点とする地域づくり協議会の設立を促し、自治会連合会等地域（市民）と共に地域課題の解決や役員の負担軽減に取り組む体制づくりを進めてきました。

市は、全市で公正公平・一律的なサービスの提供に主眼を置くことを基本とするため、地域固有の課題それぞれに直接対応するのは難しい面があります。

これからは、地域課題を皆で話し合い解決し、人の繋がりや地域の活力を取り戻すことで、誰もが住みやすく、将来に渡って持続可能な地域に繋がるものと考えます。

引き続き、本市が目指すこれからの地域のあり方を、一人でも多くの市民と共有し、自らのまちは自らの手でつくる意識を培う機会を提供していきます。

### ■ これまでの主な取組

年度	内容	対象	実施主体
平成25年度	視察 香川県高松市・滋賀県近江八幡市	市職員	磐田市
	会議 新たな「地区活動拠点」 意見交換会	自治会連合会代表、 市社協事務局長等	磐田市
平成26年度	視察 滋賀県甲賀市・近江八幡市	自治会連合会役員	自治会連合会
	自主防災会連合会と自治会連合会の統合		
平成27年度	地域づくり協議会発足 交流センターオープン 公民館やコミュニティセンターから交流センターへ		自治会連合会 磐田市
	視察 愛知県知多市・一宮市	自治会連合会役員	自治会連合会
	視察 富山県射水市・福井県越前市	市職員	磐田市
	交通安全会連合会と自治会連合会の統合		

平成 28 年度	視察 長野県長野市	自治会連合会役員	自治会連合会
	講演会 講師：島根県雲南市(小規模多機能自治推進NW会議事務局) ※同年、NW会議に磐田市加入	地域づくり協議会長 交流センター長	磐田市
	青少年健全育成会連合会の解散		
	子ども会育成者連合会の解散		
	交通指導隊の解散		
平成 29 年度	地域づくり応援課設置		磐田市
	一括交付金の段階的導入 自治会連合会の地区助成 防犯・交通安全活動事業	地域づくり協議会	磐田市
	視察 三重県松阪市・名張市	自治会連合会役員	自治会連合会
平成 30 年度	一括交付金の段階的導入 防災対策活動事業 子育て応援・子ども若者健全育成活動事業	地域づくり協議会	磐田市
令和元年度	一括交付金の段階的導入 高齢者福祉事業(敬老会開催事業)	地域づくり協議会	磐田市
令和 2 年度	自治会連合会役員研修会 講師：IIHOE 代表 川北秀人氏	自治会連合会役員、地域づくり協議会役員等	自治会連合会 磐田市
令和 3 年度	地域デザイン推進室設置 (地域づくり応援課内)		磐田市
	小規模多機能自治講演会(若手向け) 講師：川北秀人氏	商工会議所青年部会 青年会議所等	磐田市 商工会議所
	小規模多機能自治オンライン勉強会 講師：川北秀人氏	市職員、自治会連合会役員、地域づくり協議会役員等	磐田市 小規模多機能自治推進ネットワーク会議
	里山くらしLABO講演会	地域づくり協議会役員等	磐田市
	小規模多機能自治講演会 講師：川北秀人氏	自治会連合会役員、自治会長、地域づくり協議会役員等	自治会連合会 磐田市
	地域活動情報交換会	地域づくり協議会等	自治会連合会 磐田市

**令和3年度事業（詳細）****■ 小規模多機能自治講演会（若手事業者向け）（新規）**

磐田商工会議所青年部会、一般社団法人磐田青年会議所を中心とした若い世代に対し、「自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために」と題し、講演会を開催しました。市長はじめ条例策定検討委員会委員等も参加し、共に学ぶことができました。

**【開催日程】**

日時：令和3年7月29日（木） 18時30分から20時00分まで

会場：磐田商工会議所 会議室



46名参加

コロナ対策を踏まえ、参加人数の制限、後日動画配信の対応を  
しました。（期間等限定）

**■ 小規模多機能自治オンライン勉強会（継続）**

小規模多機能自治推進ネットワーク会議が主催する「小規模多機能自治オンライン勉強会」に参加しました。

「初夏の陣」「晩秋・初冬の陣」と年2回、それぞれ全6回の講義があり、市長、副市長はじめ、市福祉部局、市社会福祉協議会、市民活動センターの職員ほか、自治会連合会、地域づくり協議会、条例策定検討委員会委員などにも広く声掛けし、先進事例等について共に学ぶことができました。



延べ72名参加

コロナ対策を踏まえ、参加人数の制限、後日動画配信の対応を  
しました。（期間等限定）

**【内容・日程】**

内 容	初夏の陣	晩秋・初冬の陣
行政のための施策・体制整備研修会（導入編）	令和3年6月14日	令和3年11月15日
行政のための施策・体制整備研修会（継続・進化編）	令和3年6月15日 令和3年7月27日	令和3年11月16日 令和3年12月21日
地域運営組織の取組み事例共有会	令和3年6月2日	令和3年11月30日
行政の施策・支援事例共有会	令和3年6月3日	令和3年12月1日
地域運営組織や行政への支援者（中間支援機関等）の支援事例共有会	令和3年6月3日	令和3年12月1日

**■ 里山くらしLABO講演会（新規）**

住民ニーズの把握や地域課題の解決に向けた「中学生以上全住民アンケート」講演会を開催しました。

**【開催目的】**

令和2年12月に開催したI I H O E川北秀人氏による講演会を受け、地域では小規模多機能自治への理解が進みつつあります。

地域における課題は様々で、地域だけで全ての課題を把握することは困難ですが、一方で、実際に住民が地域についてどのように考えているのか、住民ニーズを正しく把握することは、効果的なまちづくりへの第一歩と言えます。

そこで、自治会等の地縁組織が抱える課題を第三者視点で支援し、課題の見える化や数値化、全住民を巻き込むことを基本として、「地域住民による空き家活用」「自治会行事の見直し」「中学生以上全住民アンケート」「特産品補助金事業の事業承継」などを受託なしの自費で実施した活動が評価され、共同通信社等による平成30年2月「第8回地域再生大賞特別賞」を受賞した「里山くらしLABO」へ講師を依頼し、地域づくり協議会に対して、住民ニーズの把握方法や地域課題解決の方法について講演してもらいました。

**【開催日時等】**

日時：令和3年9月18日（土） 15時00分から16時30分まで

会場：アミューズ豊田 ゆやホール

対象：地域づくり協議会

23 協議会役員等（1 協議会から2名まで）

地域づくり応援課職員、市社会福祉協議会職員 外



**55名参加**  
**コロナ対策を踏まえ、参加人数の制限、後日動画配信の対応をしました。(期間等限定)**

### 【講師紹介】

**里山くらしLABO (2015年設立) : 池田 水穂子 (代表)・河村 将雄**

静岡県静岡市の中山間地域の子育て支援や移住促進支援をきっかけに、人口減少と高齢化に対応するコミュニティづくりのサポートを開始。当事者でも行政でもない、第三者の視点による伴走支援を主として、地域課題の数値化や可視化、地域活動の目的の再確認や、組織や役職、イベントや行事の見直しなど、自治会を主とする地域活動の当事者が、時代の変化に対応できるしなやかな地域運営組織づくりを応援。

2018年からは、静岡市主催の人材養成塾「地域デザインカレッジ」の専任講師や、地域活動の好事例発表会の企画運営を務め、自治会や地域づくりを担う住民を支援。

46の地方紙と共同通信社が主催する「第8回地域再生大賞」においては特別賞を受賞、静岡市、袋井市などで自治会を基盤とする「全住民アンケート調査」を支援したほか、岡山、新潟、山口、佐賀など県外でも広く講演活動を行っている。

### 【講演会前後の流れ】

年	月日	内容	備考
R1	11	研修会	県自治会連合会西部支部主催
R3	4	里山くらしLABO打合せ	静岡市
	5		
	6	里山くらしLABO市長面会	磐田市役所内
	7	講師(里山くらしLABO)打合せ	
	8	講演会開催通知、会場打合せ	
	9. 18	講演会 (中学生以上全住民アンケート)	後日動画配信(期間等限定)
	10	中学生以上全住民アンケート実施希望調査	～11/12
	11	<u>実施希望地域センター長ヒアリング</u>	
	12		
R4	1	実施希望地域ヒアリング①	里山くらしLABO
	2	実施希望地域ヒアリング②	里山くらしLABO
	3	里山くらしLABO打合せ	以降、主体は地域、伴走は里山LABO

## ■ 小規模多機能自治講演会（継続）

様々なデータから推測される磐田市の未来や日本各地の先進的な地域活動の取り組みを学び、今後の地域活動のヒントを得る学びの場として、講演会を開催しました。

### 【開催日時等】

日時：令和3年12月19日（日） 10時00分から12時30分まで

会場：竜洋なぎの木会館

対象：現自治会長及び来年度の新自治会長

自治会連合会役員、地域づくり協議会役員等

内容：「自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために」

### 【講師紹介】

IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表 川北 秀人 氏

1964年大阪生まれ。87年に京都大学卒業後、(株)リクルート入社。広報や国際採用などを担当して91年退社。その後、国際青年交流NGOの日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE設立。市民団体のマネジメントや、企業の社会責任(CSR)への取り組みを支援するとともに、NPO・市民団体と行政との協働の基盤づくりを進めている。

また、地域自治組織の先進地である島根県雲南市の地域自主組織制度を立ち上げ当初から支援するなかから「小規模多機能自治」の推進を提唱。「小規模多機能自治推進ネットワーク会議」には200以上の自治体が参加し、都心部でも急速に進む高齢化や人口減少に備えた住民自治や地域経営のあり方を学んでいる。



327名参加

コロナ対策を踏まえ、参加人数の制限、後日動画配信の対応をしました。(期間等限定)



## ■ 地域活動情報交換会（新規）

地域の特性に応じた様々な取組みについて、地域の自主性をより尊重し発揮できる学びの場として、地域づくり協議会活動に直接かかわる方々の情報共有や意識啓発等を図るために、情報交換会を開催しました。

【開催日時等】 ※会場は磐田市役所内会議室

開催日時	テーマ
令和3年10月27日（水）13時30分～15時	防犯・交通安全
令和3年12月22日（水）13時30分～15時	子育て・健全育成
<del>令和4年2月16日（水）13時30分～15時</del>	防災（中止：資料提供による情報共有）

### 【開催方法】

事前アンケートを基に、活動内容等を一覧表に整理し、資料として事前配布。当日は進行役としてファシリテーターを活用し、少人数のグループに分かれ情報共有等を図りました。

## ■ 小規模多機能自治推進プロジェクト（4課長会議）（新規）

概ね小学校区の各地域には、地域づくり協議会が設立され、地域における活動の整理や統合、活動における予算配分の見直しをはじめ、現在は地域特有の課題の把握とそれら課題の解決に向けて動き出しています。

しかし、各地域にある地区社会福祉協議会（略：地区社協）や単位老人クラブ（略：単ク）などの組織に目を向けると、地域づくり協議会の福祉部会として機能している地区社協や、地域に支えられながら活動を続ける単クもありますが、役員の担い手不足をはじめ様々な課題を抱えている状況です。

これらを踏まえ、福祉部門の福祉課や高齢者支援課及び市社協地域福祉課に地域デザイン推進室が加わった4課の長を中心に、福祉外郭組織の課題に限らず地域づくりや地域福祉に関わる現状の認識や課題の整理を開始しました。

今後は、福祉外郭組織のあり方だけでなく、市と市社協との連携強化や地域福祉計画上の地域福祉や地域づくり協議会の位置付けを議論し、福祉分野も包括した地域づくり協議会を目指します。（会議5回開催）

**【経過】**

年	月日	内 容	備 考
R3	4	担当打合せ	地域→高齢・福祉・市社協に現状確認
	5	会議立上げ準備	地域→各課長説明
	6	第1回4課長会議	
	7	重点プロジェクト研究チーム設置の動き	
	8	第2回小規模多機能自治プロジェクト	<u>会議名称の変更</u>
	9	里山くらしLABO講演会	会場・動画配信
	10	第3回小規模多機能自治プロジェクト	
	11		
	12	第4回小規模多機能自治プロジェクト	
R4	1	生活支援コーディネーター（SC）研修	講師：里山くらしLABO
	2	第5回小規模多機能自治プロジェクト	
	3		



**令和4年度主な事業（予定）**
**■ 中学生以上全住民アンケート（新規）**
**◇実施予定地域（4地域）**

長野地域づくり協議会、豊浜地域づくり協議会、豊岡東地域づくり協議会、豊田東地区まちづくり協議会

**◇実施主体（地域づくり協議会）の役割**

アンケート印刷から封入、配布、回収、データの入力を行うとともに、アンケートの内容校正、結果報告は里LABOの支援を受けながら行います。

**◇里山くらしLABOの役割**

アンケートの素案設計、校了、回収率速報作成、結果分析、報告資料の編集等を行います。

**◇市の役割**

財政支援として、令和4年度は、1地域1,000千円×4地域分で計4,000千円を地域づくり応援一括交付金に予算計上しました。

**◇期待される効果**

地域ごとに異なる住民ニーズや地域課題が把握され、地域課題を自ら解決していこうとする住民意識が醸成されること、また、将来的には、課題解決に向けた関係部門との調整や地域計画の策定、地域課題に応じた予算配分及び事業実施が期待されます。

**◇スケジュール(予定) ※令和5年度実施地域募集・講演会等は引き続き実施します。**

R4	4	<b>中学生以上全住民アンケート実施</b> 実施協議会への説明	実施主体：地域づくり協議会 会長、役員、自治会長等
	5	アンケート内容検討	
	6	アンケート素案作成	
	7	アンケート入稿、印刷、封入	
	8	アンケート配布	
	9	アンケート回収 / 講演会	回収率速報
	10	アンケート入力 / R5度アンケート実施 希望調査	
	11	アンケート分析 / R5度実施希望地域 ヒアリング～	
	12	報告書編集、校正	報告会告知
R5	1	報告書配布、報告会準備	
	2	報告会開催	
	3		

## ■ 小規模多機能自治シンポジウム（新規）

小規模多機能自治に関する基調講演をはじめ、地域づくりの事例報告、パネルディスカッションなどを行い、本市が目指すこれからの地域やまちづくりのあり方を考え、一人でも多くの市民と共有し合い、学び合い、自らのまちは自らの手でつくる意識を培う機会を提供します。

### 【開催日時等】

日時：令和4年11月20日（日）13時～17時

会場：（仮称）磐田市文化会館「かたりあ」

※令和4年夏オープン、9月一般利用開始予定

対象：市民、条例策定検討委員会委員、市内団体（自治会連合会、地域づくり協議会、社会福祉協議会、市民活動センター、商工会議所、商工会、青年会議所等）  
小規模多機能自治推進ネットワーク会議会員、静岡県自治会連合会など

内容：第1部 基調講演

第2部 地域づくり実践事例報告

第3部 パネルディスカッション

### 【講師・コーディネーター/パネリスト（共に調整中）】

- 日詰 一幸 氏（静岡大学学長、（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会委員長）
- 鈴木 まり子氏（特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会、静岡県被災者支援コーディネーター、磐田市男女共同参画審議会会長）
- 土肥 潤也 氏（コミュニティファシリテーター、NPO法人わかものまち事務局長 内閣府若者円卓会議委員、いわた高校生まちづくり研究所講師）
- 唐木 啓介 氏（厚生労働省社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室・地域共生社会推進室 室長）
- 板持 周治 氏（小規模多機能自治推進ネットワーク会議事務局、雲南市政策企画部次長 兼地域振興課課長）
- 草地 博昭 （磐田市長）
- 講師・コーディネーター
- 川北 秀人 氏（基調講演講師、I I H O E代表）

## ■ 市民ワークショップ（新規・企画）

本市における小規模多機能自治の推進を踏まえ、これまでの「協働」とこれからの「協働」、目指していく人づくり、地域づくりのあり方について、幅広い階層の市民と共に考え合い、学び合う場を創ります。

市民参加を基に、公募によるメンバーを中心として、複数回実施する中で様々な意見や提案等を語り合い、まちづくりの理念も再確認・再認識し合いながら、条例改正の必要性の理解を市民と共に深めていきます。

## ■ 市民ファシリテーターの養成（継続・企画）

対話を重視した地域づくりや市政運営を更に推進するため、会議等の運営をより円滑に効果的な結論に導くことができる人材を養成します。

これまでの座学講座に加え、ロール・プレイング形式(模擬会議)の講座等、市民活動センターと連携しながら実施していきます。

## ■ 小規模多機能自治関係講演会・研修会・勉強会・プロジェクト等（継続・企画）

様々なデータを基に、今後の磐田市の未来や日本各地の先進的な地域活動の取組みを学ぶため、各種講演会等を開催します。

多様な形式（集合、オンライン、動画配信等）を活かしながら、自治会連合会や地域づくり協議会の役員をはじめ、自治会長、各種団体関係者等、幅広い年代の市民等を対象にこれからの地域活動のヒントを得る学び合いの場を創出していきます。

また、引き続き福祉課、高齢者支援課、市社協地域福祉課及び地域デザイン推進室4課長を中心に、情報交換・共有を図り合い、市と市社協との連携強化や地域福祉計画上の地域福祉や地域づくり協議会の位置付けを議論し、福祉分野も包括した地域づくり協議会を目指します。

## ■ 地域活動情報交換会（継続）

地域特性に応じた様々な取組みについて、地域の自主性をより尊重し発揮できる学び合いの場として、地域づくり協議会活動に直接かかわる方々の情報共有や意識啓発等を図るため情報交換会を開催します。

令和3年度の流れを基に、福祉分野等新たなテーマも取り入れ、ファシリテーターを活用した会の進行を図りながら、市民等相互に情報共有等を図っていきます。